



2学期が終わります

2学期の期末教育相談を実施しました。足元が悪くご多忙のところを出席いただき、ありがとうございました。

2学期が終わろうとしています。記録的な厳しい暑さだった8月に始まり今週は初雪。気温差30度以上の長い2学期でした。

八鹿っ子たちは、毎日の学習や多くの行事を通して“実り”と言うにふさわしい、着実な成長を遂げました。保護者や地域の皆様には、2学期も本校教育への格別のご理解とご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。健康に気をつけていただき、どうか良いお年をお迎えください。



■ 「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組について

「そうあんくんの日」の取組について各ご家庭でご協力いただき、ありがとうございます。冬休みも「そうあんくんお手伝い大作戦」を実施します。「そうあんくんカード」には、家族への思いやりにあふれた記述や、日常生活に息づいている「コツ」や「知恵」を身につけた記述がたくさん見つけられます。お手伝いは、子どもたちにとって、自分の時間や力を誰か（家族）のために使うという協働、献身、尊重の心を育むとともに、生活していく上での様々なスキルを身につける機会にもなります。

家族や地域の一員として、進んで働き、さまざまな体験を通して、できることを増やしてほしいと思います。ご家族のみならず、地域のみならず、どうぞご協力をよろしく願います。

冬休みは、毎日が「そうあんくんの日」2023～2024

学ぶ者は事を厭い 労を辞すべからず

そうあんくんお手伝い大作戦

お手伝い大作戦の書き方

てつだ だいさくせん か かた

書き方の例

30 お手伝いの記入 さいばい 12/26 ③

40 お手伝いの記入 さいばい 12/27 ④

50 お手伝いの記入 さいばい 12/28 ⑤

60 お手伝いの記入 さいばい 12/29 ⑥

70 お手伝いの記入 さいばい 12/30 ⑦

80 お手伝いの記入 さいばい 12/31 ⑧

90 お手伝いの記入 さいばい 12/31 ⑨

100 お手伝いの記入 さいばい 12/31 ⑩

スタート 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31

※ 毎日の「そうあんくんの日」の取組は、冬休みの期間に子どもたちと一緒に家族のお手伝いについて話し合ってください。お父さん、お母さんもお手伝いを通して子どもたちの成長を応援していただき、冬休みも一緒に子どもたちと一緒に家族のお手伝いについて話し合ってください。

※ お家の人といっしょに内容・点数(6歳まで)を決めましょう。

① 玄関などはきそうじ.....3
② 部屋のそうじ機がけ.....3
③ 洗濯物干し.....3
④ 洗濯物たたみ.....3
⑤ 食卓の手拭(記簿).....3
⑥ 食卓後の食器洗い.....3
⑦ 床をあらう(床をとぐ).....3
⑧ 食事作りの手伝い.....4
⑨ おつかい(重い物など).....4
⑩ お風呂そうじ.....4
⑪ トイレそうじ.....5
⑫ 炭をふく.....5
⑬ 食事作り(調理).....5
⑭ おもつきの手伝い.....5
⑮ おせち料理作りの手伝い.....5
⑯ 除雪(雪かき)10分間で...2
⑰ 大掃除のお手伝い(そのほかのお手伝い).....10
★スペシャルお手伝い(そのほかのお手伝い).....10

“大いちょう”から学ぶ

- 8年前、出勤して運動場を見ると、大いちょうが大胆に剪定され、前日とは全く違う姿になっていました。とても大いちょうとは呼べないような姿でした。「八鹿小のシンボルの大イチョウがあんな姿になってしまって。大丈夫だろうか…。正直、言葉を失いました。
- 8年経った今。そんな当時の心配をよそに、大イチョウはかつてのような雄大な姿を復活させています。毎年春になると確かに芽吹き、生まれ変わったかのように力強く枝葉を伸ばしていきます。今も圧倒的な存在感を放ち、美しく堂々とした姿で八鹿っ子たちを見守り続け

ているのです。なんとも力強い生命力を感じずにはられません。

- かつて東井先生は子どもたちに、機会あるごとに大いちょうに注目させたそうです。12月の全校朝会でも、今年1年の大いちょうの様子を示して子どもたちに講話を行いました。

【12月の東井先生の言葉】

見えないところがほんものにならないと 見えるところもほんものにならない

- 大いちょうの「見えないところ」とは、どこなのでしょう。目に見える葉が全て落ちてしまっても、春になれば再び芽吹く。そんな生命力を生み出す「見えないところ」です。
- 東井先生は子どもたちに、見えない「根」の存在に気づかせようとしてしました。この巨大ないちょうの木を支える根は、いったいどのくらいの大きさなのでしょう。どれくらいの高さで、どれくらいの広がりなのか。見えないから想像が付きませんが



今年、いちばん黄色くなった日の大いちょう



葉が落ちた大いちょう。来春また芽吹くのでしょう

- 「見えないところ」の巨大な根っこが「見えるところ」の幹や枝葉をしっかりと支えているのはまちがいありません。「根を養えば樹はおのずから育つ」のです。
- 池田草庵先生の「慎独（しんどく）」も、実は東井先生と同じことを言っておられるのではないのでしょうか。

「慎独（しんどく）」

自分が一人にいるときでも、心を正しくもち、自分に恥ずかしくない行動をすること

- 先人が残された言葉が響き合って本校の教育が形づくられてきました。今の八鹿っ子たちにも、本校教育で大切にしてきた「根」や「見えないところ」のもつ力に気づいてほしいと願っています。

■ しめ縄づくりに挑戦しました【3年生】 12月20日

今年度の「赤米」を素材とした一連の活動の最後として、3年生が「しめ縄づくり」を体験しました。しめ縄づくりは、わらのかたまりを“神様の道標”に変えていく作業です。心を込めてつくっていききました。



1年を通してお世話になっている小佐自治協の皆様が16名も学校に来られて、子どもたちに丁寧に指導していただきました。小佐自治協の皆様には田植え等も含めて年間4回も3年生の子どもたちといっしょに活動していただいたことになります。地域の皆様と子どもたちとのつながりが本当に深まったことを感じました。寒い中にも関わらず、なんともほっこりとして満ち足りた雰囲気でした。おかげで立派なしめ縄が完成しました。小佐自治協の皆様、年末のお忙しい中を本当にありがとうございました。

